

# 電気ケトル 1.0L 修理保証書

型番	TA-B08
品番	ET-103

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、保証書の記載にもとづき、お買いあげの販売店が無料修理いたします。お買いあげの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間	本体お買いあげ日より 1 年無料	お買いあげ日	年 月 日
※お客様	お名前 様	住所 TEL	
※販売店	店名 印	住所 TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。  
(イ) お取り扱い上の不注意・天災・火災・公害・異常電圧・指定外の使用電圧による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合。  
(ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書、本体表示などの禁止事項での使用による故障や損傷。  
(ハ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。  
(ニ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入の無い場合あるいは字句を書き換えられた場合。  
(ホ) 本書のご提示がない場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

※補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間保有しています。

### 保証書にご記入いただいた個人情報について

※ご記入いただいたお客様の個人情報は商品の修理・交換に関わる作業のみ使用させていただきます。  
※修理・交換以外の業務や第三者に提供することはありません。

	修理実施日	修理内容	担当者
サービスメモ			

□この度はお買い求め頂き誠にありがとうございます。  
この製品は、厳密な検査をいたしております。  
ご使用前に破損などが無い確認し、取扱説明書をよく読んでから、正しくお使いください。お読みになった後は使用者がいつでも見られるところに必ず保管してください。

(中国製)

### ■輸入販売元

**Tamahashi** co.,Ltd.  
株式会社 タマハシ

〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6  
TEL0256-63-9545 FAX0256-66-2252  
URL http://www.smile-king.co.jp  
E-mail tamahashi@smile-king.co.jp

要保管

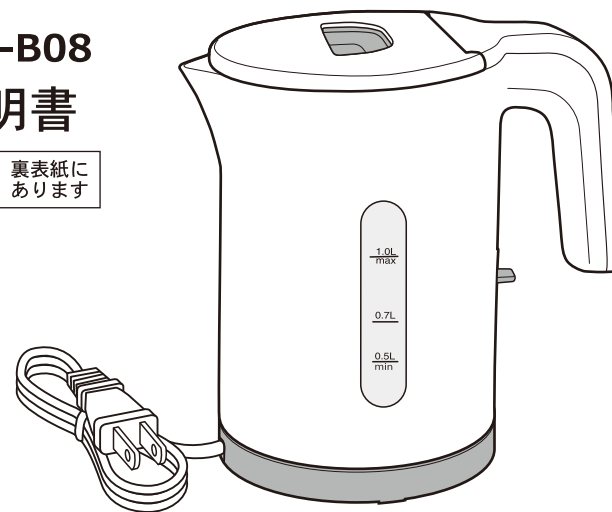
# 電気ケトル 1.0L

※一般家庭用（業務用として使用しないでください。）

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用の際には取扱説明書をよく読んでから使用してください。不適切な取扱いは事故につながります。  
この取扱説明書は必ず保管してください。

## 型番 TA-B08 取扱説明書

保証書付 裏表紙に  
あります



※この図はイメージです。

本製品は日本国内専用設計されていますので、国外での使用はできません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

	仕様
品番	ET-103
品名	電気ケトル 1.0L
定格	AC100V 50/60Hz
消費電力	670W
電源コード	約 0.75m
容量	1.0L
外形寸法	約 205×130×高さ 208mm
本体重量	約 555g

## もくじ



安全上のご注意…………… 1～3  
各部の名称…………… 4  
ご使用方法…………… 5～8  
お手入れについて…………… 8～9  
おかしいな?と思ったら…………… 10  
アフターサービスについて…………… 14  
保証書

## 安全上のご注意







- ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危険や損害を防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害の発生する可能性が想定される」内容です。
---	--------------------------------------	---	--

※物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

	<b>禁止図記号</b>		<b>指示図記号</b>
この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。	

### 警告

	<b>修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。</b> ※発火したり、異常動作してケガをすることがあります。		<b>交流 100V で、定格 15A 以上のコンセントを単独で使う。</b> ※交流 100V 以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと、火災や感電の原因になります。
	<b>子供や取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。</b> ●やけど・感電・けがをする恐れがあります。		<b>傾けたり、ゆすったり、フタを持って移動したりしない。</b> ※湯が流れ出てやけどをする恐れがあります。
	<b>使用中、ふきんなどで注ぎ口をふさがない。</b> ※湯がふきこぼれてやけどをする恐れがあります。		<b>注ぎ口に手をかざしたり、蒸気に触れたり、顔を近づけない。</b> ※やけどをする恐れがあります。特に幼児には触れさせないでください。
	<b>本体を転倒させない。</b> ※湯が流れ出てやけどをする恐れがあります。		<b>フタは勢いよく閉めない。</b> ※湯がふきこぼれてやけどをする恐れがあります。
	<b>最大目盛り以上の水を入れない。</b> ※湯がふきこぼれてやけどをする恐れがあります。		<b>水につけたり、水をかけたりしない。</b> ※ショート・感電の恐れがあります。

## 保障とアフターサービス (必ずお読みください)

### ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにお取扱い・お手入れに関するご不明な点はお買い上げ販売店にご相談ください。

ご転居あるいはご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合

■お問い合わせ先 **Tamahashi** co.,Ltd.  
株式会社 **タマハシ**  
〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6  
TEL0256-63-9545 FAX0256-66-2252  
URL <http://www.smile-king.co.jp>  
E-mail [tamahashi@smile-king.co.jp](mailto:tamahashi@smile-king.co.jp)

【受付時間】  
10:00～12:00  
13:00～17:00  
(土日・祝日は除く)

### 保証書 (一体)

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

—保証期間—  
**お買い上げ日より 1 年**

### 補修用性能部品の保有期間

- 本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後 5 年間保有しています。
- この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理を依頼される時は

- 保証期間中  
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。  
保証書/取扱説明書の記載内容により修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時は  
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

本文中の絵表示は製品のイメージで、実際の形状と一部異なる場合があります。





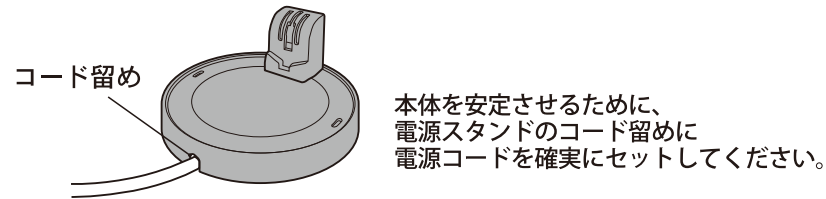


## ご使用方法

### はじめて使うときは

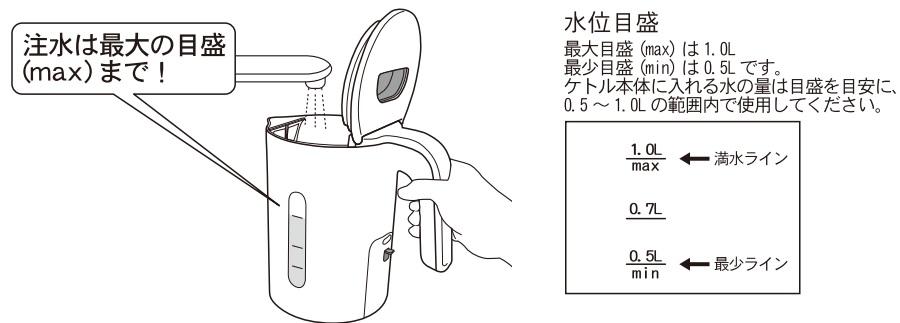
- 本体内部を水またはぬるま湯でよくすすいでください。
- お湯がにおうことがあります。ご使用とともになくなります。気になるときは2～3回沸騰させた後、お湯を捨ててください。

### 1. 電源スタンドを水平で安定した場所に置く

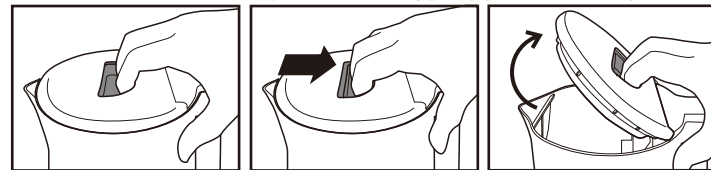


### 2. 蓋を開けて本体に水を入れる

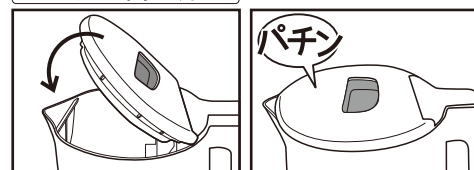
本体に新鮮な水を必要な量 (min ~ max) を入れ、フタを確実に閉める。  
※フタをしっかりと閉めない、沸騰しても電源が切れません。



**フタの開け方** フタ上部の開閉スライドに指をかけ、図の方向に押しながら上部に向かって蓋を開ける。



**フタの閉め方** フタをパチンと音がするまでしっかりと閉める。



## おかしいな?と思ったら

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

こんな時は?	調べるところ	処置
お湯が沸かない。	電源スタンドのコンセントがはずれていませんか。	コンセントをきちんと差し込んでください。
作動しない。沸騰する前にスイッチが切れてしまう。	MIN(0.5L)に満たない水量で湯を沸かしていませんか。 また、水が入っていない状態でスイッチを入れたりしていませんか。 空だきすると、安全装置が作動して、スイッチが入りません。	ケトルをよく冷ました後、水を入れて、電源スイッチを押してください。
湯に白い物が浮く、容器内が汚れていたり、壁面がはがれたように見える。	ミネラルなど水道水の成分が固着しはがれたものです。 ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。が有毒ではありません。	クエン酸洗浄によるお手入れをしてください。 (9 ページ参照)
湯沸かし時の音が大きくなる。	ケトル内部底面に水アカが付着したためです。	ケトル内部をお手入れしてください。(8 ~ 9 ページ参照)
電源スイッチが入らない	ケトルと電源スタンドの端子接触部が正しく接触していますか。  連続使用していませんか。	ケトルと電源スタンドを正しくセットする。 (6 ページ参照)  5分以上間をあけてから再度電源スイッチをいれてください。
電源スイッチが切れない	ふたが閉まっていますか。ふたがしっかりと閉まっていないと沸騰してもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。

上表にしたがって調べいただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

長年ご使用の電気ケトルの点検を!	
	<p>「おかしいな?と思ったら」の表を参考に処置した後、なお異常がある場合はただちに使用を中止してください。</p> <p>故障や事故防止のため、必ず点検・修理を販売店にご相談ください。</p>

## こんなときは

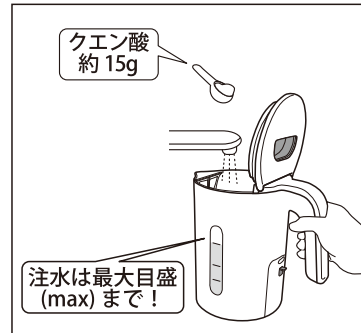
- 沸かしたお湯に白やキラキラした浮遊物がある。
- 乳白色、黒点、虹色などに変色した。
- 赤サビ状の斑点（もらいサビ）がついた。
- ガラガラしている。

アルカリイオン水やミネラルウォーターのご使用や水道水の水质によって、ご使用にともない本体内部に水アカが付着します。これはミネラル分などの作用によるもので衛生上問題ありません。汚れがひどくなったらクエン酸洗浄をしてください。アルカリイオン水やミネラルウォーターをご使用の場合は特に汚れやすくなります。定期的にクエン酸洗浄でお手入れすることをおすすめいたします。

## < クエン酸洗浄 >

### 1. ケトルに水を入れ、クエン酸を加える

- ①ケトルに最大目盛(max)まで水を入れる。
- ②約15gのクエン酸を入れ、かき混ぜてからフタをする。



### 2. 洗浄をする

- ①水を入れたケトルを電源スタンドに正しくセットします。
- ②フタがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- ③電源スイッチを押します。電源が入り、通電ランプが点灯します。

### 3. お湯が沸き、電源が切れる

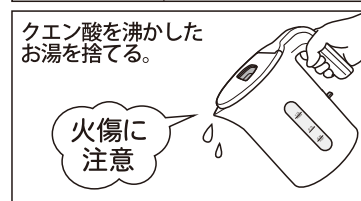
- ①お湯が沸くと自動的に電源が切れます。(電源スイッチが元に戻り、通電ランプが消灯します。)
- ②約1時間放置してください。

●クエン酸のお湯を飲まないでください。



### 4. お湯を捨てる

- ①本体を電源スタンドから外し、お湯を捨ててください。
- ②ケトル内側を水ですすぎます。



### 5. 再度、水を入れて沸騰させてお湯を捨てる

- ①クエン酸のにおいをとるために、最大目盛(max)まで水を入れて沸かします。
- ②沸いたらお湯を捨てます。

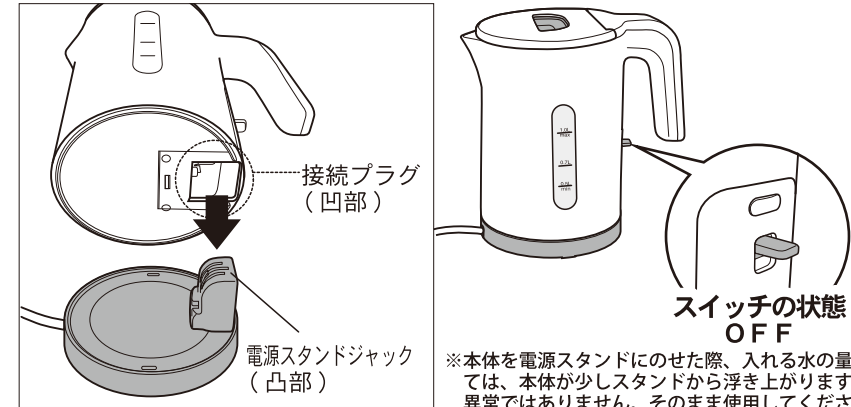
●汚れが落ちにくい場合は繰り返しクエン酸洗浄を行います。

- クエン酸洗浄のお湯は飲まないでください。
- クエン酸は必ず水に加えてください。お湯には入れないでください。
- クエン酸は薬局などでお求めになれます。(クエン酸は食品添加物なので食品衛生上無害です。)
- ケトル本体内部のステンレス部分をお手入れする際は、柔らかいスポンジをお使いください。また、ステンレス部分は強くこすらないでください。表面に傷がつくおそれがあります。

## 3. 本体を電源スタンドに正しくセットする

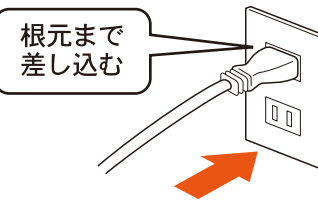
本体底部にある接続プラグと電源スタンドの接続ジャックが合うようにセットする。

※本体の電源スイッチが切れている状態で行ってください。



※本体を電源スタンドにのせた際、入れる水の量によっては、本体が少しスタンドから浮き上がりますが、異常ではありません。そのまま使用してください。

## 4. 電源プラグをコンセントに差し込む。

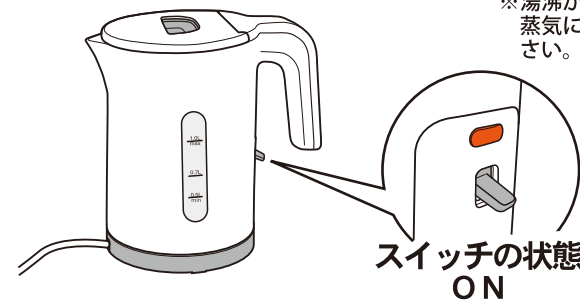


※定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災、故障の原因になります。

## 5. 電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れてください。通電ランプが点灯して電源が入ります。

※湯沸かし中は絶対にフタを開けたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。火傷をすることがあります。



## お願い

- 最低目盛以下の水量で沸かさないでください。空焚き防止機能が働いて電源が切れることがあります。
- フタが開いていると沸騰しても電源が切れません。必ず閉めてください。
- 保温機能はありません。必要な分だけ沸かしてください。

## 6. お湯が沸き、電源が切れる

沸騰すると自動的に電源が切れ、電源スイッチが元に戻ります。  
※通電ランプが消灯します。



※お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。  
※沸騰直後にフタを開けないでください。火傷をすることがあります。

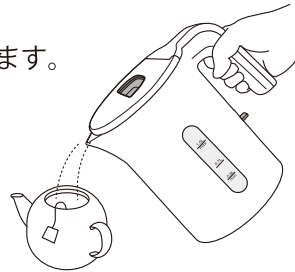
最大容量	時間
1.0L	約 10分

途中で電源を切るには	電源スイッチを指で(上方向に)上げて、通電ランプが消えたことを確認する。
連続して使用するには	5分以上、冷ましてから電源スイッチを押してください。熱いと電源が入らない場合があります。

## 7. お湯を注ぐ

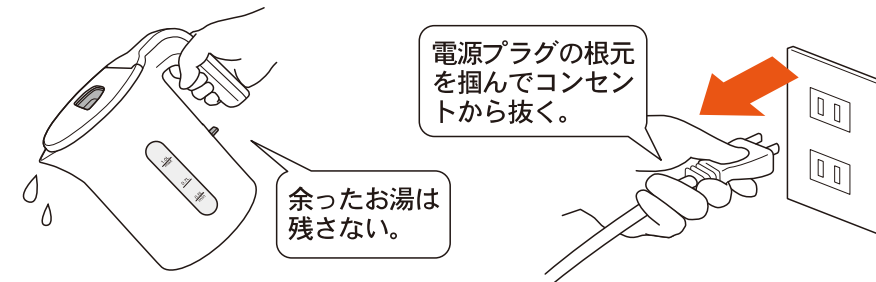
- ①フタがしっかりと閉まっていることを確認します。
- ②ケトル本体を電源スタンドから持ち上げお湯を注ぎます。

※本体・フタ(特に注ぎ口・フタ付近)はかなり熱くなっています。火傷にご注意ください。  
※沸騰状態がおさまってから注いでください。  
※注ぐ際に傾けすぎると本体とフタの間から湯がこぼれることがあります。



## 8. 使い終わったら

使用後はコンセントから電源プラグを抜いてください。  
残った水は捨ててください。放置すると変色・腐食の原因となります。



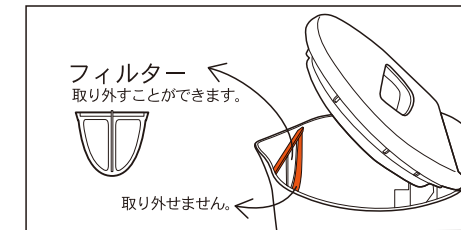
## お手入れについて

### 日常のお手入れ

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。
- 本体の丸洗いは絶対にしないでください。
- 洗剤は使わないでください。
- 金属タワシや磨き粉・ベンジン・シンナーなどは使用しないでください。
- 食器乾燥機・食器洗い機は使用しないでください。

### 【本体内側】

水でよくすすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと水分をふき取ってください。  
※洗剤は使わないでください。異臭の原因になります。  
※電源スイッチなど外側に水がかからないように注意してください。



図の着色部分は取り外すことができません。構造的に細くなっているため、必要以上に力を加えると破損の恐れがあります。

### 【本体外側・電源スタンド】

水を含ませ固くしぼった柔らかい布などで汚れをふきとります。